

平成 30 年度東浦町若者会議 第 5 回開催記録

1 開催概要

若者の発想やアイデアを実際のまちづくりに生かすこと、若者に「まちづくり」に興味を持ってもらうきっかけづくりとすることを目的として、平成 30 年度東浦町若者会議を開催します。グループに分かれ、東浦町の課題等に対する事業を検討します。

第 5 回では、第 1 回～第 4 回で検討した提案事業を発表する報告会を開催しました。

- 日 時：平成 30 年 9 月 15 日（土） 午後 1 時 30 分から午後 4 時まで
- 場 所：東浦町文化センター 視聴覚室
- 参加人数：20 人
- 内 容：
 - 1 開会（あいさつ、本日の予定について）
 - 2 発表練習
 - 3 報告会
 - 4 アンケート記入等
 - 5 閉会

2 本日の予定について／発表練習

<本日の予定>

前半は、発表内容の確認や発表練習を行いました。後半は、報告会を開催しました。町長、教育長、関係課職員が出席し、各グループが提案事業について発表しました。

<発表練習>

グループごとにプロジェクターを使用した発表練習を行い、内容の確認や職員から発表のアドバイスをもらいました。

3 報告会

以下の内容で報告会を開催しました。

- 1 町長あいさつ
- 2 平成30年度東浦町若者会議の活動について
- 3 提案事業発表、質疑応答
 - (1) 提案事業名：見てみやー！やってみやー！食べてみやー！自ら守る防災
グループ名：ぶどう
内 容：防災意識の向上に関する提案
 - (2) 提案事業名：みんなでフォトコン 学習の森を調査しよう
グループ名：カントリーマアム
内 容：東浦自然環境学習の森の知名度向上に関する提案
 - (3) 提案事業名：Connecting with 東浦～若者が町を繋ぐ～
グループ名：半分、白い
内 容：若者に向けた情報発信に関する提案
- 4 町長講評

4 各グループの発表

- 提案事業名：見てみやー！やってみやー！食べてみやー！自ら守る防災
グループ名：ぶどう
内 容：防災意識の向上に関する提案

<事業内容> ※詳しくは別添発表資料を参照。
於大まつりなどのイベントで防災ブースを設ける。

<ブース内でやること>

- ・ 消火器体験
- ・ 災害時のCG映像
- ・ 非常食の試食会
- ・ 土のう作り体験



於大まつりなどのイベントにブースを設けることによって、身近に住民に防災の情報を伝え、危機感を持ってもらい、普段から防災訓練に参加してもらうなどの動機づけになることを狙っている。

<質疑応答>

- ・東浦町では、産業まつりにて防災コーナーを設けていますが、行ったことはありますか。行ったことがある方は、感想を教えてください。
- ⇒行ったことはありますが、正直なところ、あまり印象には残っていません。
- ・アイデアの中に「うんこハザードマップ」とありますが、どのようなものですか。
- ⇒小学生に人気の「うんこドリル」からヒントを得たアイデアです。ハザードマップでは消火器や避難場所の場所が数字等で記載されていますが、それをうんこマークで記載すると、子どもが興味を持って見るのではないかと考えました。
- ・今後、東浦町で防災に関するイベント等をする際に、みなさんに協力をしてもらうことは可能ですか。
- ⇒協力させていただきます。



- 提案事業名：みんなでフォトコン 学習の森を調査しよう
- グループ名：カントリーマアム
- 内 容：東浦自然環境学習の森の知名度向上に関する提案

<事業内容> ※詳しくは別添発表資料を参照。

フォトコンテストを開催する。

<部門>

四季部門／課題部門／自由部門

<ルール>

スマホ、一眼レフ 両方良い

1枚のみ

学習の森で撮った写真に限る

<賞品>

- 四季部門…春（3～5月）：いちご
夏（6～8月）：ぶどう
秋（9～11月）：栗
冬（12～2月）：米
- 課題部門…図書カード（10,000円、5,000円、3,000円）
- 自由部門…iTunesカード（10,000円、5,000円、3,000円）



入賞作品は写真展、写真展で表彰式 ← 投票の集計や呼びかけは自分たち(若者)

<質疑応答>

- 自由部門の賞品が iTunes カードとなっていますが、Android のスマートフォンを使用している人は iTunes カードを使わないため、他の賞品の方がうれしいです。
⇒商品券に変えたいと思います。
- フォトコンに応募するためには自然環境学習の森に行かなければいけないという手法は、知名度を上げる良い手法だと思いました。
- 今回、自然環境学習の森に行ったり、検討したりして、保全活動に参加したい、自然環境学習の森を活用したいと思うようになりましたか。
⇒機会があれば参加したいと思います。
⇒虫がいない時期なら...
- イベント等の機会があれば、ぜひ参加してください。また、友人等に自然環境学習の森を PR してもらえるとありがたいです。
- 場所がわからないという欠点に対し、チラシを配る、宣伝するというアイデアが出されていましたが、宣伝方法によってそれを受け取る年齢層が異なってくると思います。チラシ以外の宣伝方法はありますか。

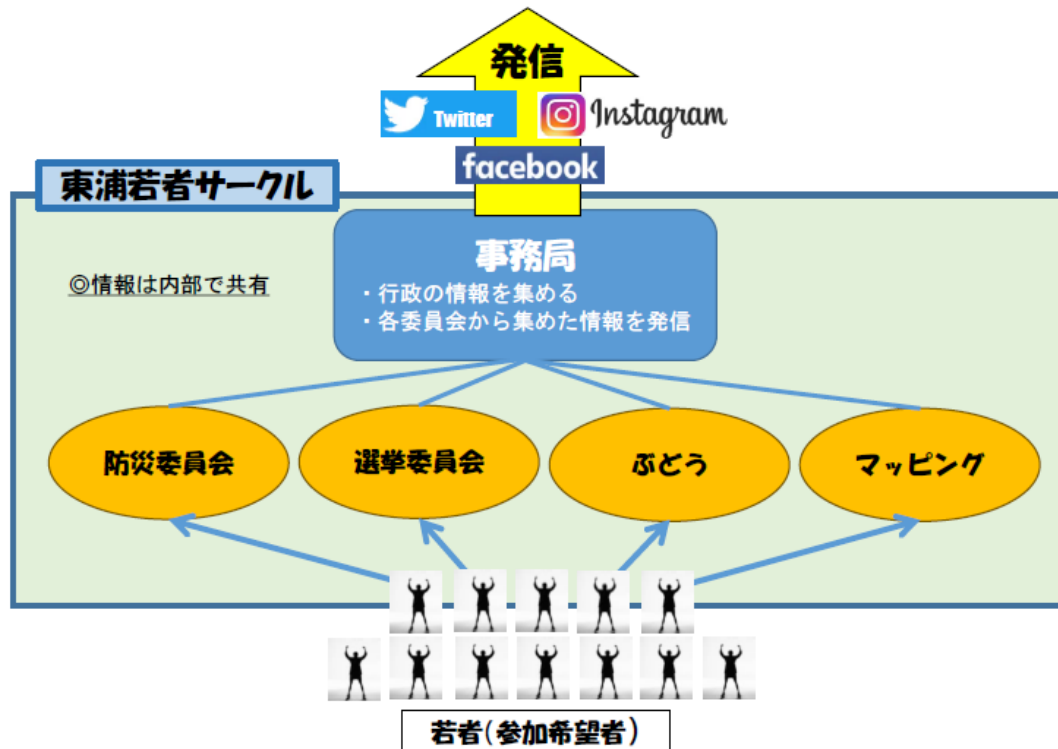
- ⇒学校を通した宣伝や、SNS を利用した宣伝がアイデアとして挙がりました。
- ・モデル等呼んだ撮影会をする日を設定してみても面白いと思いました。
 - ・初めて自然環境学習の森に行った時の感想を教えてください。
- ⇒良くも悪くも何もないなと思いました。
- ⇒野鳥観察で行ったことがありますが、「野鳥を見に行った」という思い出しかなく、自然環境学習の森についてはあまり印象がなかったです。
- ⇒想像していたよりも広く、自然が多くいい場所だと思いました。
- ⇒道の整備が不十分だと思いました。
- ⇒虫と草が多かったです。
- ⇒事前に見たパンフレットにはとてもきれいな写真が載っていましたが、行ってみるとパンフレットの印象とは少し異なっていると思いました。
- ・自然環境学習の森に、写真を撮りたいと思う場所がありましたか。
- ⇒自然が好きな人にとっては良い場所だと思いますが、そこまで好きではない人からすると、草が多いなどの印象が強いかもしれません。
- ⇒もう少し整備をすると良いと思います。



- 提案事業名：Connecting with 東浦～若者が町を繋ぐ～
- グループ名：半分、白い
- 内 容：若者に向けた情報発信に関する提案



＜事業内容＞ ※詳しくは別添発表資料を参照。
 サークルを設立し、若者に向けた情報発信を行う。

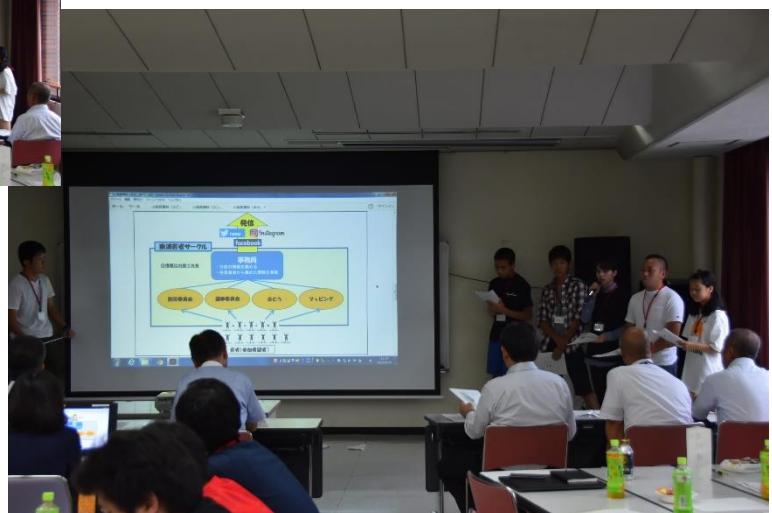


＜質疑応答＞

- ・若者会議に参加する以前に、東浦町のホームページや Facebook を見たことはありますか。
- ⇒於大まつりなどのイベントの情報を知るために、町のホームページを見たことがあります。
- ⇒グループのメンバーの半分が町外在住なのですが、町外のメンバーは見たことがありませんでした。
- ・今後ボランティア団体として登録するとのことで、今年度の若者会議が終了しても継続して活動していただけるのはとてもありがたいです。東浦町から依頼をすることがあるかもしれませんが、一緒に頑張りましょう。
- ・発表の中で「イベントをする」という話もありましたが、こういったものを考えていますか。
- ⇒具体的にこれをやるというものはまだありません。東浦若者サークルに参加するメンバーで話し合って決めたいと思っています。今回立ち上げる東浦若者サークルは、

学校の生徒会のような組織で、具体的な取組はその中に作る各委員会で実施していきたいと思っています。

- SNSのタグ付けは、具体的にはどのようなものですか。
- ⇒例えば、東浦町に関する投稿の中に「#東浦」と書きます。すると、「#東浦」で検索した場合、このハッシュタグが付いた投稿が一覧で表示されるため、東浦に関する情報を集約することができます。
- 情報発信では、発信を強化してもなかなか情報を受け取ってもらえず苦労することがあります。情報を受け取ってもらうためのアイデアはありますか。
- ⇒「東浦若者サークルというものがある」ということを、周りの友人に伝えるなどして知ってもらうことで、情報を受け取ってくれる人が増えていくと思います。
- 東浦町と若者のつながりを強化すると、20年後東浦町はどんなまちになっていると思いますか。
- ⇒現在刈谷市の高校に通っていますが、三河地域の人には東浦町があまり知られていないため、20年後には知ってもらえていると良いと思います。
- ⇒行政がやっていることはどうしても堅く見えてしましますが、若い人がやっているに興味湧きます。大人になった時も、同年代の人がやっていると関わりやすいと思うので、20年後にそんなまちになっていると良いと思います。
- ⇒若者会議の中で、東浦がどんなまちかを考える機会がありましたが、なかなか思いつきませんでした。20年後には、「若者が元気なまち」と言えるようになっていると良いと思います。



5 町長講評

カントリーマアムグループは、「自然が好き」というメンバーではなさそうでしたが、その中でよく知恵を出してもらったと思います。モデルに来てもらうという新しいアイデアを組み合わせると、より良いものになると思います。

ぶどうグループは、現実的な提案をしていただいたと思います。アイデアの中に出てきた「うんこハザードマップ」なども面白かったです。実際にうんこハザードマップを作ってみると、このアイデアが一步先に進んでいたかもしれません。

半分、白いグループは、次につなげようという意欲が感じられたので、ぜひ続けてほしいと思います。組織の目的や存在理由が少し不明確にも感じましたが、それでもまずは作って始めてしまうというの、ある意味では若者の発想かもしれません。

東浦町は、若者と接点を持ち、若者に元気になってもらって、まちも元気になりたいと思っています。しかし、若者会議のようなイベントに参加してもらうには、友達ができるとか、成長につながるなど、自分のためになると実感できるものでないといけないと思います。そのようなイベントとなるよう行政として考えていけたらと思います。

今回の若者会議に限らず、様々なイベントを実施しているので、ぜひ参加してほしいと思います。また、周りの友人にもぜひ伝えてください。若者会議に参加していただきありがとうございました。



若者会議へのご参加

ありがとうございました！



THANK
YOU